

# ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン

徳島

## ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

日時

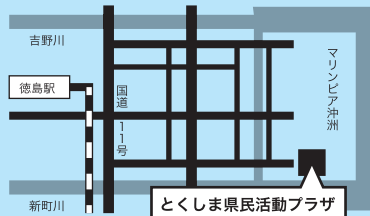
7/11(土)

14:30~16:30

(受付開始13:30~)

●会場

とくしま県民活動  
プラザ  
1階・研修室



●定員 50名(申込不要)

●参加費 一般・家族会員 1000円

<KHJ徳島つばめの会 12周年記念>  
プレ講座(座学):

内容

全国のひきこもり当事者による  
コミュニティ活動の状況

講師:池上正樹

大学卒業後、通信社などの勤務を経て、フリーのジャーナリストに。1997年から「ひきこもり」当事者の取材を続け、ダイヤモンド社の「ダイヤモンド・オンライン」で、『「引きこもり」するオトナたち』を5年以上にわたって連載中。主な著作に『ドキュメントひきこもり』『ダメダメな人生を変えたM君と生活保護』最新刊に『大人のひきこもり~本当は「外に出る理由」を探している人たち~』(講談社現代新書)など。



1限目 ひきこもり大学

講座(座学・トークセッション形式)

テーマ:「居場所について考える」

講師:宮武将大

香川県内の2カ所に異なる種類の「居場所」を作り、運営している宮武さん。KHJ徳島つばめの会の高橋浩爾とフューチャーセッション庵IORIのファシリテーターも交えて、居場所づくりについての思いを語ります。

プロフィール:小学校6年生から不登校になり、そのまま8年間ひきこもる。その後、社会復帰を果たし、高校、大学に進学。そして就職。働く傍ら当事者とひきこもり自助グループ「Lamp」、当事者団体「node」を立ち上げ、居場所作り、対話の場作りを行う。



2限目

対話実習(グループワーク形式)

進行:庵IORIファシリテーター

参加者同士でグループをつくり、1限目の宮武講師たちの話を踏まえて、問いや感じたことを共有し合います。見学席も用意しています。

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

※フューチャーセッション庵IORIとは、「ひきこもりが問題でない社会」の実現を目指し、多様な立場の人たちが集まる対話の場。2012年から東京都内にて隔月で開催されています。

主催:全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

共催:KHJ徳島県「つばめの会」

協力:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

お問い合わせ

キャラバン専用メールアドレス

info@khj-h.com

または

03-5944-5250(KHJ本部)

※都合により内容等が変更になる場合があります。

